



TITLE:

<水族館報告>水族館記録: 2014年

AUTHOR(S):

CITATION:

<水族館報告>水族館記録: 2014年. 京都大学瀬戸臨海実験所年報 2015, 28: 10-12

ISSUE DATE:

2015-12-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/207665>

RIGHT:

水族館記録－2014 年度

1. 研究・教育

- 7月9日 広島大学附属東雲中学校のインタビューに対応した。
- 7月14日 開智中学校（生徒6人、教諭1人）のバックヤード見学を指導した。
- 7月26日 灘高校生物部に館内生物の解説を行った。
- 7月28日 大阪府立三島高校生物部（生徒9人、教諭2人）のバックヤード見学を指導した。
- 白浜町民生課障害者サマースクール（26人）の生物集計を指導した。
- 8月1日 白浜小学校1年生部会（13人）および2年生部会（7人）のバックヤード見学と生物集計体験を指導した。
- 8月5日 富田林高校（17人）のバックヤード見学を指導した。
- 8月20日 東大寺学園（33人）に館内生物の解説を行った。
- 8月21日 白浜中学校（生徒5人、教諭2人）のインタビューに対応した。
- 9月19日 山田温子特任助教（大阪大学インターナショナルカレッジ）にクラゲムシの一種5個体を提供した。
- 10月10日 印南小学校2年生のインタビューに対応した。
- 10月15日-18日 博物館実習を行った。実習生は2名で、給餌、水槽掃除、生物採集などを指導した。
- 10月28日 東大阪商工会（14人）に館内生物の解説を行った。
- 11月9日 洛友中学校（生徒40人、教諭17人）に館内生物の解説を行った。
- 11月28日 椿小学校（生徒5人、教諭2人）のバックヤード見学を指導した。
- 11月29日 京都東ロータリークラブ（25人）に館内生物の解説を行った。
- 12月17日 西田宏紀教授と院生3人（大阪大学大学院理学研究科西田研究室）が研究用マボヤ約400個体を搬入し、大型実験水槽（第3水槽棟作業室）を8.0-8.5℃に冷却して蓄養を行った（研究概要については本年報第21巻、8ページ参照）。
- 2015年1月11日 キッズラボ（7人）に館内生物の解説を行った。
- 2月3日 歩く歩く会（41人）に館内生物の解説を行った。
- 2月4日 シニア大学校（43人）に館内生物の解説を行った。
- 2月16日 岡西政典研究員に、203号水槽（「刺

胞動物門 ヒドロ虫綱・花虫綱）に大量発生したニシキクモヒトデ数個体を提供した。

- 3月19日 新井未来仁氏（東京大学院生）にヤマトアカモンヒトデ1個体を提供した。

2. 普及

- 5月8日 読売テレビがオオカワリギンチャクについて取材した。
- 6月27日 水族館再開館の前に、マスコミ向け内覧会を行い、紀伊民報、産経新聞、読売新聞、毎日新聞、テレビ和歌山などが水族館の工事について取材した。
- 7月4日 水族館再開館の記念式典を行った。
- 7月5日-6日 水族館再開館記念として、無料開放とし、2日間でのべ5,500人が来館した。
- 7月8日 京都大学新聞が水族館の工事について取材した。
- 7月19日-8月31日 「夏休み解説ツアー」を、教員5人・飼育担当3人・研究員3人・院生1人の計12人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し（定員各10人）、表側381人、裏側405人が参加した。
- 7月19日 紀伊民報が「夏休み解説ツアー」の様子を取材した。
- 7月21日-8月27日 「大水槽エサやり体験」を飼育担当3人で実施した。毎週月・火・水曜日の14時45分から約15分、101号水槽と226号水槽のエサやりを体験してもらい、183人が参加した。
- 7月28日 紀伊民報がアオノリュウゼツランの花について取材した。
- 8月7日 日経新聞が「夏休み解説ツアー」の様子と、水族館の工事について取材した。
- 8月20日 教育支援メニューフェアに参加し、標本・パネルなどを使い水族館についての説明を行った。
- 8月23日-24日 「海の生き物なんでも相談会」を、23日と24日の13:00~15:00に開催した。また、紀伊民報が8月23日に相談会の様子を取材した。
- 10月18日 「水族館の飼育体験」（13:30-15:30）（和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座）を行った。参加者は9名。
- 10月24日 和歌山県教育庁文化遺産課の調査班がオオカワリギンチャクを視察した。オオカワリギンチャクを県の天然記念物に指定することを検討しているとのこと。

11月4日 英語版のリーフレットが完成し、配布を開始した。

11月18日 産経新聞、毎日新聞、読売新聞、紀伊民報各社が、アオノリュウゼツランの小型つぼみについて取材した。

12月6日 英語版HPを作成し、公開した。

12月13日 「水族館の飼育体験」(13:30-15:30) (和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は17名。

12月23日 読売新聞が、オカヤドカリ類について取材した。

12月25日-2015年1月7日 「冬休み解説ツアー」を、教員5人・飼育担当3人・研究員3人の計11人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し(定員各10人)、表側101人、裏側102人が参加した。

2015年1月9日 産経新聞、毎日新聞が、オカヤドカリ類とウチノミナカイヒトデについて取材した。

1月27日 Wikipediaに掲載されている水族館の情報を更新した。

2月7日 「水族館の飼育体験」(13:30-15:30) (和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は5名。

2月24日 静岡市市議会委員の視察に対応した。白浜ウェルカムサポーターの研修に対応した。

3月16日-17日 朝日新聞、産経新聞、紀伊民報各社がホンフサアンコウについて取材した。

3月25日-4月1日 「大水槽エサやり体験」を飼育担当3人で実施した。毎週月・火・水曜日の14時45分から約15分、101号水槽のエサやりを体験してもらい、39人が参加した。

3月25日-4月5日 「春休み解説ツアー」を、教員5人・飼育担当3人・研究員4人の計12人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し(定員各10人)、表側106人、裏側101人が参加した。

3月31日 紀伊民報が「大水槽エサやり体験」の様子を取材した。

3. 収集・飼育・展示・生物観察メモ

1月3日 408号水槽のクロハギ類に、皮膚病が発生した。水温低下が原因と考えられる。

6月23日 222号水槽(「節足動物門 甲殻亜門 軟甲綱」)および223号水槽(「節足動物門 甲殻亜門 軟甲綱」)で結露が悪化したため、結露水吸収用の布を設置した。

7月5日 電子顕微鏡スペース(旧227号水槽跡)の撤去に伴い、旧228号水槽を227

号水槽(「さまざまな無脊椎動物」および「小型魚類」)に、旧229号水槽を228号水槽(「磯の生物」)にそれぞれ水槽番号を変更した。

8月4日-11月5日 「遠藤吉三郎の写真乾板展」のパネルをウォールケース内に展示した。

10月10日 306号水槽にオカヤドカリ類10個体を収容し、水槽タイトルを「天然記念物のいきもの」に変更した。

10月20日 303号水槽(「魚らしくない魚・紀南で珍しい無脊椎と魚」)に収容していたハタ類が全滅したため、シヤコ類とイセエビ類を収容した。

11月2日 407号水槽(「深み 陸棚下部にすむ魚」)で長期飼育していたナヌカザメ(メス)1尾が死亡した。(全長99cm、体重7.6kg)

11月5日 ウォールケース内の展示を、時岡展から従来の研究紹介パネルに変更した。

12月1日 204号水槽(「環形動物門多毛綱」)のオニイソメがセイタカイソギンチャクの一部捕食されたため、205号水槽の個体と交換した。

2015年3月3日 第4水槽室予備水槽のハマフエフキなど3種16個体に、全身白濁の症状があらわれ、死亡個体もでたため、すべて殺処分にした。

3月22日 204号水槽(「環形動物門多毛綱」)に備え付けのライト付きルーペのLEDライトを、1.5V LEDから 9.0V LEDに交換した。

4. 受贈

4月11日-8月7日 真鍋和功さん(白浜町)より、カエルアンコウ1尾(全長12cm、田辺湾)、ノコギリガニ1個体(甲幅4cm、田辺湾)などを含む10種13個体。

6月23日-2015年1月15日 よし善商店より、オオウミウマ1尾(全長10cm)、オオモンハタ1尾(全長8cm)、ヒゲハギ1尾(全長12cm)、オオイトカケ1個体(全長5cm)、タイラギ1個体(全長25cm)。

7月23日 田上拓也さん(田辺市)より、スィショウガイ1個体(全長6cm、目良)。

9月15日 フィッシャーマンズワーフ(白浜町)より、ナミマツカサ2尾(全長15cm)。

9月27日 浦 禎介さんより、ワカウツボ1尾(全長12cm、塔島)、カワハギ1尾(全長40cm、塔島)。

11月8日 真鍋 茂さん(白浜町)より、アイブリ1尾(全長30cm、水深90m)。

11月11日 山根健司さん(白浜町)より、ヒメセミエビ1個体(全長6cm、鹿島沖)。

11月15日 大江富夫さん(白浜町)より、カノコイセエビ1個体(全長25cm)。

11月21日 北原信行さん（ラフォーレ）より、ナンヨウツバメウオ1尾（全長20cm、2年前に湯崎で採集し飼育してきた個体）。

12月29日 真鍋 正さん（白浜町）より、オオヒロバオウギガニ1個体（甲幅5cm）。

2015年3月14日 野田 貴浩さん（大阪府）より、ホンフサアンコウ1尾（全長40cm、袋沖水深200m）。

5. その他

6月9日 第1水槽室濾過槽で立ち踏み逆洗を行っている最中に、逆洗用の開放式配管が破裂したため、逆洗を中止し、6月19日に破損部分を交換した。

7月5日 水族館の耐震・補修工事が終了し、再開館した。

8月8日-11日 台風11号接近に伴い、臨海道路が通行止めとなったため、8月8日15:30から8月11日12:00まで臨時閉館とした。

11月25日 224号水槽の漏水が悪化したため、ブロック・砂を取り出し、改修工事を行った。

11月30日-2015年2月28日 208号水槽の漏水が悪化したため、岩組を取り壊し、改修工事を行った。その後も漏水が止まらなかったため、ガラスを取り外し、防水作業を行った。

2015年1月22日-26日 204号水槽のオーバーフロー配管回りからの漏水が悪化したため、展示を中止し、補修を行った。

2月25日 研究棟に保管されていた貴重標本を、水族館の3階に移動させた。

3月10日 原田桂太技術職員と山内洋紀技術職員が、京都水族館で行われた、第4群技術職員研修に参加し、山内技術職員が白浜水族館の概要について発表した。